

小中合同道徳参観日



児童の振り返り（第4学年 主題名「みんなのために つくる人々」 2-（4）尊敬・感謝）

- ・ 消防士さんは、火事を消すだけでなく自分たちの知らないところで、こんなに働いてくださっていることを初めて知りました。
- ・ 地域におられる身近な方が、日本の安全を守るために活躍されていてすごいと思いました。

保護者や地域の方々を対象にした「道徳の時間」



道徳の時間を実感
保護者の共感

保護者の振り返り

「自分の母の顔を思い出しながら、自分と向き合いました」「現実のことを考えながら涙も出てきました」「あたらたらどうしようという『ドキドキ感』もあり、考え学ぶことができ、他の人のいろいろな意見も聞けてよかったです」「久しぶりに先生と授業できてよかったです」

○成果と課題

〔小中合同道徳参観日〕

- ・ 小中全学級でゲストティーチャーを招いた道徳の授業を公開し、授業後の学級懇談会で道徳教育について保護者と交流することで、学校・家庭・地域が目指す子ども像を共有することができた。
- ・ 普段お世話になっている保護者や地域の方々のご自分の経験をもとに話をしてくださったので、より子どもたちの心に響いた。
- ・ 日常的に保護者や地域の方々との交流する機会を増やしていきたい。

〔保護者や地域の方々を対象とした「道徳の時間」〕

- ・ 小学校と中学校の保護者が中学校3年生を対象とした資料で「道徳の時間」を体感することにより、今後のわが子の成長をイメージし、家族愛について考えることができた。
- ・ 保護者自身が授業を通じて、保護者の様々な意見を聞くことにより、自分の考えを深めることができた。